

| | | | | | | | | | |
|--|------------------------------|----------------------|------------------------|--------------------------|---------------------|-----|------------|-----|------|
| 科目名 | 施術概論 4 | | | | | | | 年度 | 2026 |
| 英語科目名 | Surgical operation outline 4 | | | | | | | 学期 | 後期 |
| 学科・学年 | 柔道整復科 3年次 | 必/選 | 必 | 時間数 | 30 | 単位数 | 2 | 種別※ | 講義 |
| 担当教員 | 奈良和彦 | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | 医師（病院にて勤務） | | |
| 【科目の目的】 この科目で主に診察の基本と内科疾患を中心とした疾患の概念を学ぶことで、柔道整復師が臨床現場で注意を払わなければならない症状・所見の理解を深めることを目的とする。 | | | | | | | | | |
| 【科目の概要】 部位別に具体的な外傷の成り立ちや治療方法を学びます。 | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 診察では、患者の訴える自覚症状（愁訴）を聴取することから始まり、患者の身体に現れている異常な他覚的所見（徴候）を眼でみたり、手で触ったりして観察する。ついで、診察を通じて患者の異常状態なり病名を判断する。この行為を診断という。診察から診断について学ぶことで柔道整復師本来の業務範囲に活用できることが目標である。 | | | | | | | | | |
| 【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 | | | | | | | | | |
| 評価基準＝ルーブリック | | | | | | | | | |
| ルーブリック評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 | | | | |
| 到達目標 A | 代謝疾患について完全に理解している。 | 代謝疾患について大体理解している。 | 代謝疾患について部分的に理解している。 | 代謝疾患についての理解がやや不足している。 | 代謝疾患について理解していない。 | | | | |
| 到達目標 B | 内分泌疾患について完全に理解している。 | 内分泌疾患について大体理解している。 | 内分泌疾患について部分的に理解している。 | 内分泌疾患についての理解がやや不足している。 | 内分泌疾患について理解していない。 | | | | |
| 到達目標 C | 血液疾患について完全に理解している。 | 血液疾患について大体理解している。 | 血液疾患について部分的に理解している。 | 血液疾患についての理解がやや不足している。 | 血液疾患について理解していない。 | | | | |
| 到達目標 D | 腎・尿路疾患について完全に理解している。 | 腎・尿路疾患について大体理解している。 | 腎・尿路疾患について部分的に理解している。 | 腎・尿路疾患についての理解がやや不足している。 | 腎・尿路疾患について理解していない。 | | | | |
| 到達目標 E | 膠原病・感染症について完全に理解している。 | 膠原病・感染症について大体理解している。 | 膠原病・感染症について部分的に理解している。 | 膠原病・感染症についての理解がやや不足している。 | 膠原病・感染症について理解していない。 | | | | |
| 【教科書】 教科書は「一般臨床医学解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。 | | | | | | | | | |
| 【参考資料】 | | | | | | | | | |
| 【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題等を総合的に評価する。 | | | | | | | | | |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。 | | | | | | | | | |

| 科目名 | | 施術概論 4 | | | 年度 | 2026 |
|------|-----------|------------------------------|-----------------|--------------------------------------|------|------|
| 英語表記 | | Surgical operation outline 4 | | | 学期 | 後期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | 代謝疾患 | 代謝疾患について理解する。 | 1 糖尿病とは | インスリン作用の不足による慢性の高血糖状態を主徴とするものを理解する。 | 3 | |
| | | | 2 糖尿病の三大合併症とは | 網膜症、腎症、神経障害について理解する。 | | |
| | | | 3 高尿酸血症とは | 結晶中の尿酸値が7.0mg/d L以上であることを理解する。 | | |
| 2 | 内分泌疾患① | 内分泌疾患について理解する① | 1 ホルモン異常の分類 | 分泌過剰と分泌低下について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 間脳疾患 | 視床下部性腺機能低下症、中枢性思春期早発症について理解する。 | | |
| | | | 3 下垂体疾患 | 先端巨大症、下垂体性巨人症について理解する。 | | |
| 3 | 内分泌疾患② | 内分泌疾患について理解する② | 1 甲状腺疾患 | バセドウ病、甲状腺機能低下症について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 副腎皮質疾患 | クッシング症候群、アジソン病について理解する。 | | |
| | | | 3 性腺疾患 | クラインフェルター症候群、ターナー症候群について理解する。 | | |
| 4 | 血液・造血管疾患① | 主要徴候にける貧血について理解する。 | 1 貧血とは | 血液中のヘモグロビン量が減少した状態を理解する。 | 3 | |
| | | | 2 症状 | 息切れ、めまい、立ちくらみ、易疲労感などについて理解する。 | | |
| | | | 3 貧血に特有な所見 | スプーン状爪、舌炎、黄疸、脾腫などについて理解する。 | | |
| 5 | 血液・造血管疾患② | 血液・造血管の各疾患について理解する。 | 1 赤血球疾患 | 鉄欠乏性、巨赤芽球性、溶血性各貧血について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 白血球系疾患 | 急性、慢性各白血病について理解する。 | | |
| | | | 3 出血性素因 | 特発性血小板減少性紫斑病、血友病について理解する。 | | |
| 6 | 腎泌尿器疾患① | 主要徴候について理解する。 | 1 尿量や排尿の異常 | 乏尿・無尿、多尿、頻尿などについて理解する。 | 3 | |
| | | | 2 浮腫 | 細胞間質に体液が過剰に蓄積した病態について理解する。 | | |
| | | | 3 尿路結石 | 典型的では突然出現する激しい側腹部痛であることを理解する。 | | |
| 7 | 腎泌尿器疾患② | 腎泌尿器の各疾患について理解する。 | 1 腎不全 | 急性腎不全、慢性腎臓病について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 糸球体疾患 | 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群について理解する。 | | |
| | | | 3 尿路感染症 | 膀胱炎、腎盂腎炎について理解する。 | | |
| 8 | 振り返り | 後期1回～7回の講義の振り返り。 | 1 代謝疾患 | 糖尿病の定義と三大合併症について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 内分泌疾患 | バセドウ病、クッシング症候群、アジソン病などについて理解する。 | | |
| | | | 3 血液・造血管疾患 | 貧血の定義と特有な所見について理解する。 | | |
| 9 | 膠原病① | リウマチ性疾患について理解する。 | 1 リウマチ性疾患とは | 関節、関節周囲、筋肉などの痛みやこわばりを起こす疾患群について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 リウマチ性疾患の代表 | 膠原病について理解する。 | | |
| | | | 3 膠原病とは | 全身症状を伴う炎症性疾患について理解する。 | | |
| 10 | 膠原病② | 膠原病の各疾患について理解する。 | 1 関節リウマチ | 多発性の関節炎により関節変形に至る全身性の慢性炎症性疾患 | 3 | |
| | | | 2 全身性エリテマトーデス | 妊娠可能な若年女性に好発する全身性の炎症性自己免疫疾患について理解する。 | | |
| | | | 3 強皮症 | 皮膚の硬化を特徴とする原因不明の自己免疫疾患について理解する。 | | |
| 11 | 感染症① | 腸管感染症について理解する。 | 1 細菌性腸炎 | 原因となる菌について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 ウイルス性胃腸炎 | 原因となるウイルスについて理解する。 | | |
| | | | 3 抗菌薬関連下痢症 | 原因となる耐性菌について理解する。 | | |
| 12 | 感染症② | 性行為感染症について理解する。 | 1 エイズ | ヒト免疫不全ウイルスによる感染症について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 梅毒 | 梅毒スピロヘータによる感染症について理解する。 | | |
| | | | 3 淋病 | 淋菌による感染症について理解する。 | | |
| 13 | 環境因子による疾病 | 熱中症・低体温症・高山病・潜函病について理解する。 | 1 熱中症 | 高温により起きる健康障害について理解する。 | 3 | |
| | | | 2 一酸化炭素中毒 | 一酸化炭素を吸引して起こる中毒症について理解する。 | | |
| | | | 3 潜函病 | 高圧環境における気泡化した窒素による塞栓症について理解する。 | | |
| 14 | 振り返り | 後期9回～13回の講義の振り返り。 | 1 膠原病とは | 関節リウマチ、強皮症などについて理解する。 | 3 | |
| | | | 2 感染症について | 腸管感染症や性行為感染症について理解する。 | | |
| | | | 3 環境因子による疾病について | 熱中症や一酸化炭素中毒について理解する。 | | |
| 15 | 施術概論4のまとめ | 後期施術概論4全体の振り返り。 | 1 内分泌疾患について | 下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎皮質疾患などについて理解する。 | 3 | |
| | | | 2 血液・造血管疾患について | 赤血球疾患、白血球疾患などについて理解する。 | | |
| | | | 3 腎泌尿器について | 腎不全、糸球体疾患、尿路感染症などについて理解する。 | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等